

# ま な び や 日黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.41 2015年10月3日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804  
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: [covenant-seminary@nifty.com](mailto:covenant-seminary@nifty.com)

---

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。八月上旬の連続猛暑日から一転して涼しくなり、さしたる残暑を経験しないまま秋へ突入。台風や線状降水帯による豪雨災害もありました。政治も気象も激動する中、中目黒五丁目はキンモクセイの香りも薄れて神学校は前期終了。短い学期休みをいつくしみつつ、高い青空を仰いで深呼吸です。

「私のたましいは、夜回りが夜明けを待つのにまさり、まことに、夜回りが夜明けを待つのにまさって、主を待ちます」(詩篇130:6)

校長 関野祐二

## ● ここだけ新校舎

お祈りいただいた本館一階トイレ改修工事は、予定通り(費用は予定をオーバー)夏休み終了二日前に完了しました。休み初日、組織神学クラスの遠足(博物館見学!)から戻ると、一階廊下は学生ラウンジの先が聖所と至聖所のようにビニールシートで仕切られ、なにやら夜明け前の緊張感が。数日間は旧トイレの解体で騒音と土ぼこりに包まれ、夜の施錠で見回りをすると、ただのリフォームレベルの工事でないことがよくわかりました。週に一度、工事関係者との打ち合わせや現場確認、器具の選定などを続けながら、時は流れて夏休み最終週。まだ現場はほこりだらけの工事中そのもので、素人目には「ホントにあと一週間で終わるのか?」と不安がよぎります。女子寮生からも「大丈夫なのですか」と追い討ちをかけるようなメール。この状態が週半ばまで続いた後、最後の三日間であっという間に器具が付き、見事なトイレへと変貌したのでした。プロの工事担当者にはちゃんと綿密なプランニングがあったのですね。世の現状がどんなに悪くても、主のご計画には見事な完成図があって、着実にそこへ向かっているのだと確信しました。ところで面積半分となったランドリー(洗濯場)は、オプションで洗濯パン設置や通用口の移動、造り付け整理棚、床の処理などを行い、お金はかかりましたがやってよかった! 寮生総出の荷物搬入に思いの他時間がかかり、作業後アイスタイムが割愛されたのはちょっぴり心残りでしたが。ともあれ、ピッカピカのトイレをぜひお使いくださいませ。築48年でもここだけ新校舎ですよ。

## ● ネット時代の試験対策

どうもクラスの皆が妙に仲良しで情報ツーカーだと思っていたのです。前期新約通論クラスの最終日、試験終了チャペル後の交わり会で、グループウェアというのでしょうか、無料の情報共有ツールを使った自由参加のメール交換により、クラスメンバーが学びと試験対策を進めていたことが判明。そうやって、模範解答が出回っていたのですね(既出問題から出題する約束なので)。自分など神学生時代には、「他人の解答用紙を見てもかえって混乱するだけ」と生意気にも高をくくっていたのに、ベルリンの壁は崩壊し(筆者の神学生二年目でした)、時代も進みました。試験

対策だけかと思いきや、なんと夜中に「予習で疲れた」とのつぶやきまで共有されていたとか。ふいに参入（乱入？）して、「コラッ！ しっかりやれ！」と檄（げき）を飛ばしてみたかったですね。さて肝心の試験結果ですが、大丈夫、効果抜群でそれなりにドングリの背較べでしたよ。

## ● 東奔西走が続きます

ヨーイドンで始まった夏休み明けの前期一ヶ月。いきなり水曜日二週連続で某神学校の公開講座へ出かけました。朝四時台に起きて午前3時間午後3時間の授業。午前の部前半を終えた段階で頭がふらつき、講壇の代わりに椅子とテーブルを用意していただく羽目に。大量の講義資料と機関銃トークで煙に巻いたような有様でしたが、喜んでもらえたようで感謝。卒業生も駆けつけてくれました。月末には大阪での宣教フォーラム&第六回日本伝道会議一年前キックオフミーティングに一泊で参加。環状線エスカレーターで左側に立ってしまい失敗々々。大阪は明るい！元気がいい！このノリで関東の神学委員会プロジェクトを切り盛りできるのか、全く自信はなし。神学校時代に家族寮で隣りだった先輩牧師に夕食をご馳走になり、心温まりました。このレターを書き終えたら今度は北海道で神学校協議会総会。40周年記念ツアーが楽しみです。西にある某神学校が校舎全面建て替えPJを進めているので、お知恵とスピリットをいただきたいところ。帰ってくれば、翌々日から後期授業開始。新たな聴講生を3名加え、72名でスタートします。卒業を控えた専門科神学生たちは、最後の絞り（締め上げ？）どころですね。どうかいっしょに、生きた福音を追求してください。そういえば後期金曜日、今年もう一息の阪神ファンH先生は、旧約講読、ヘブル語午後クラス、ヘブル語夜クラスと、前代未聞お昼から夜九時半まで連続です。じゃがビー・バターしょうゆ味を用意しておきますからね。10月20日午前、ゴードンコンウエル神学大学院のデニス・ホリンジャー学長をお迎えする、特別講演会もありますよ。別紙参照！

## ● ぜひ学びのお仲間に

恒例「献身者の集い・オープンキャンパス・公開授業」が近づきました。今年が目玉はズバリ新装トイレ？ いや、午前の「世界と教会」公開授業です。前号でご紹介した経緯により、来年度から基礎科でスタートするクラスのお試し版。教師も在校生も未知の内容ですから、どうなるか楽しみです。在校生の皆さんもぜひ参加し、Y先生を盛り上げて（祭り上げて？）ください。お昼は昼食会と、抱腹絶倒の（不謹慎でごめんなさい）在校生証し。けっこう神学校を宣伝して下さるのですが、いっさいの事前打ち合わせはありませんから念のため（賄賂もなし）。午後の特別講演会は、筆者が昨年の中神学研究会議や今年の中部地区公開講演などで追いかけて来た「『福音』とは何か」というテーマを、最近の神学動向も絡めてお話する予定。ホームグラウンドでつい気が緩み、暴走発言が出ることのないよう気をつけます。神の国の福音、そのダイナミックさ、豊かさ、幅の広さ奥の深さを共有したいですね。ほんとは車座で分かち合いたいのです。神学校での学びに少しでも関心のある皆さん、どうかおいでくださり、神学生たちのありのままの姿を見てみてください。後期が始まって三週間、そろそろ青ざめている頃かもしれません。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 在校生72名、教職員15名の後期学びと働きが、冬休み開始まで支えられるように。
- ・ ホリンジャー学長講演会の祝福。オープンキャンパスに多くの方々が来校されるように。
- ・ 本校の運営が支えられ、主にある献身者育成の使命を果たすことができるように。